

懇談会「中国でリスクを低減する広報・法務戦略等」

2026 年 8 月 4 日

講師：上田敏裕 元AGC エグゼクティブ・フェロー



経済広報センター（筒井義信会長）は4日、東京・大手町の経団連会館で、上田敏裕 元AGCエグゼクティブ・フェローを招いた懇談会を開催し、44人が参加した。

上田氏は「中国でリスクを低減する広報・法務戦略等」と題して講演し、その後、参加者との意見交換が活発に行われた。講演の概要は次のとおり。

日本にとって中国は、依然として米国と並ぶ最重要市場の一つであり、イノベーションや標準化の面でも世界の主要プレーヤーが集う「競争の縮図」だ。変化の速い中国市場で日本企業が成果を上げるためには、現地に深く根を下ろす「中の人」となり、中国社会の中で守られる存在になることが不可欠だ。

そのためには、中国の国家方針や社会課題の解決に寄与する姿勢を明確に示すとともに、現地スタッフやその人脈を生かし、政府やメディアとの信頼関係を強固に築くことが重要だ。

広報戦略では、日本企業が過去から現在に至るまで、さらには未来に向けて、中国の発展にどのように貢献してきたかを一貫したストーリーとして発信することが求められる。企業のレゾナードール（存在意義）を高める積極的な発信は、組織や個人をリスクから守る盾となる。

変数の多い中国市場において経営判断に迷いを生じさせないためには、経営トップまたは事業トップによる深いコミットメントが欠かせない。中国で成功を収めている企業はいずれも、現地の実情に応じたさらなる権限委譲を進めている。

日中間の政治的難局に対しては、個社ごとの対応には限界がある。経済界や産業界が一体となって声を上げ、日中関係の改善とビジネス環境の整備に向けた機運づくりを急ぐべきだ。

以 上

国際広報部

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-3-2 経団連会館 19 階

電話：03-6741-0031

<https://www.kkc.or.jp/>

<https://en.kkc.or.jp/>

※本稿の無断転載を禁じます。